

日常激変 水没の街

長野の千曲川決壊 間一髪恐怖に震え



消防団に助けを求められ救助された。13日午後3時19分、長野市東町

長野市東町千曲川の堤防決壊。同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。堤防決壊後、同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。堤防決壊後、同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。

【又編が山のふたすく、なちかきいては、いりて水没した。】
 「堤防決壊後、同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。堤防決壊後、同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。」

助け求める住民 懸命の救助

記者現場ルポ

13日午後3時19分、長野市東町千曲川の堤防決壊。同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。堤防決壊後、同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。



自宅2階から住居内にゴムボートで救助された松本裕子さん（中央）。13日午前10時54分、長野市大町

【記者現場ルポ】
 13日午後3時19分、長野市東町千曲川の堤防決壊。同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。堤防決壊後、同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。

「堤防決壊後、同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。堤防決壊後、同市西部のひがな田原地区は一旦、茶色濁流に覆われ、13日、無差別に押し寄せた。」

生活再建へ復旧本格化

アップルライン 開通

長野死亡女性の身元判明

台風19号



台風19号の記録的な大雨の影響で、市川の堤防が決壊し、冠水した長野市赤穂で15日に肺停止状態で見つかり死亡が確認された女性16日、同市赤穂の徳水初さん(69)と判明した。徳水さんは、崩壊した堤防で車ごとくみ込まれ、被災当時1人でいたとみられる。死因は溺死。県災害対策本部によると、16日午前10時時点で今回の台風による県内の死者は3人、けが人は重傷3人、軽傷8人となった。関係者によれば、行方不明者は少なくとも2人。

【関連記事6・7面】



急ピッチの工事で決壊部分の復旧が進んだ千曲川の堤防。手前側が浸水地域＝16日午前8時42分、長野市穂保

本格的に開通した国道18号。浸水被害にあった家財道具などを積みこんだトラックなどが通っていた。15日午前10時41分、長野市穂保

堤防が決壊した千曲川左岸では、日も修復作業が本格化。冠水した長野市長野地区には、大動脈の国道18号の通称アップルラインの朝原北交差点、アップルラインが15日午後10時に開通し、16日朝から本格的に通行できるようになり、通勤や復旧作業に向かう乗客やボランティアらの車両が行き交った。国道と交差する朝原北交差点の山形県道は全面通行止めが続いている。堤防

16日 県関係の鉄道・高速などこの状況

JR東日本
 東京—長野間と上越妙高—金沢間を臨時ダイヤで運転。
 東京—長野間は、「かがやき」、「はくたか」の運転を取りやめ、「あさま」を1時間に1、2本運転

中央自動車
 高尾—大月間不通。特急あずさ終日運休。普通は塩尻—大月間で運転

信濃線
 終日運休

小湊線
 野辺山—小湊沢間で本数を減らして運転

しなの鉄道
 長野—上田間と田中—軽井沢間で始発から運転。北しなの線は終日運休

長野県営の道路
 上信越道在久川—松井田妙義 IC、中央道大月 IC—八王子 JCT の上下線で通行止め。国道 20 号の相模原—八王子間などで通行止め

国土交通省は16日、台風19号の影響で通行止めとなっている全国の高速道路について、今後10日以内に全線解除の見通しが立ったを明らかにした。同日午前9時半時点で、土砂流入により上信越道など各路線区間で通行止めが続いている。通行止めになっているのは、上信越道松井田原ジャンクション—I C、群馬県安中市—佐久 I C (佐久市)、中央道八王子市—大月 I C (山梨県大月市) など。上信越道は10日程度で、他の路線は1週間以内には通行再開となる見通し。

また、同省は16日、台風19号の影響で、新たに東筑摩郡麻績村の麻績川の力で決壊が判明したと発表した。

長野市浸水5086世帯

千曲川仮堤防工事急ぐ



仮堤防完成を目指し、急ピッチで作業が進む千曲川の堤防決壊現場＝17日午前10時36分、長野市穂保

台風19号による記録的な大雨の影響で、県内の住宅被害が計8874世帯に上ることが17日分かった。県災害対策本部が同日午前10時時点でまとめた。県災害対策本部が同日午前10時時点でまとめた。このうち千曲川の堤防決壊で広範囲な浸水被害があった長野市では推計5086世帯（一方2485人）。国土交通省は約70％にわたって決壊した同市穂保の千曲川左岸の堤防で、この日の工事着手に向け仮堤防を設ける緊急復旧工事を急いだ。

【関連記事・7面に】

長野市は同日の災害対策本部（115人）、床下浸水が17部会館で浸水被害の推計値を81世帯（4370人）に明らかにした。内訳は千曲川・機管理防災課は「推計値のため堤防決壊箇所周辺の豊野・めがね後継り可能性がある。長沼・田原の3地域合計が1874世帯（4660人）。県災害対策本部によると、若穂24世帯（688人）、17日午前10時時点で、住宅被害は長野市に次いで千曲市1016世帯（2459人）、穂保1969世帯（4993世帯）、飯山市613683人。被害状況別では世帯、佐久市360世帯な床上浸水が3305世帯（8と、長野市や須坂市など8市

町で計844人が避難。確認されたけが人は重傷4人、軽傷89人。死者は3人。関係者によると、行方不明者は少なくとも2人。長野市に少なくとも同日午前6時時点で市内では指定・自主避難所計740人が避難している。中部電力長野支店によると、17日正午時点の県内の停電戸数は、北佐久郡軽井沢町

（約50戸）、長野市と南佐久郡佐久穂町（ともに約30戸）など、東北信地方で計約120戸。長野市穂保の堤防決壊現場ではこの日、大きくえぐられた部分に左右両側から重機で土を盛った。仮堤防自体は既に仕上がっているが、高さを決壊前と同じにするため、ダンプカーで土を運び、バックホー4台急ピッチの

緊急作業を進めた。国土交通省北陸地方整備局によると、工事は13日午前7時10分に着手し、24時間勤務で対応。コンクリートブロックで土を盛り、隙間に石を詰めたりして土を固めている。工事は日中に完了する見通しで、仮堤防の完成後は、浸水を防ぐため川側に金属板を張る計画という。

ボランティア 県内へ続々



受付に並ぶ大勢のボランティア＝19日午前8時51分、長野市の柳原総合市民センター

台風19号被災後初の週末

長野北部に数百人

台風19号の被災後、初めて迎えた週末の19日、長野市北部の浸水地域ではボランティアが続々と集まり、住宅の泥のかき出しなどの作業が本格化した。県危機管理庁によると、18日午後から19日朝にかけては連続した前線の影響で県内全域に雨が降ったが、主立った被害は確認されていない。

【関連記事6・7面】

19日午前9時前、岡市小島町の柳原総合市民センター。ここに設けられた「市北部被害ボランティアセンター」の受付に、県内外から駆けつけたボランティアの列ができた。名札やマスク、注意書きを載せたチラシをスタッフから受け取り、スコップを主に用意されたバスへ、千曲川の氾濫

で大きな被害が出た無償、種保地区などに向かった。

県社会福祉協議会長野市の職員などスタッフ約50人は、センターの外に設けた本部でミーティングを開き、「1軒ずつローラー作戦で回り、手伝うことがあるか二丁を把握しながら課題を解決しよう」と確認した。

JR長野駅からは同センター行きバスも運行され、ボランティアは次々に現場へ。同日正午までは数百人が受け付けを済ませた。

上水内郡小川村から参加した介護福祉士の土屋久美子さんは、新聞報道で80代の女性が1人で被災住宅の片付けをしているのを知り、「届

ても立つてもらえなかった。被災した高齢者の役に立ちたい」と意気込んだ。

スタッフで市社会福祉協議会ボランティアコーディネーターの武井未緒さん(28)は「まだボランティアの人数が足りていない。被災地で待っている人たちがいます」と努力を呼び掛けた。

県災害対策本部によると、19日午前7時時点で、長野市や須佐市、南佐久郡佐久穂町などで1012人が避難。長野市災害対策本部によると、19日午前7時時点で市内の13指定・自主避難所に計681人が避難している。210人が避難中の豊野西小学校の避難所は、避難者の密度が高、トイレ(11)確保も十分でないという。避難者の一部を、長野運動公園体育館などの避難所に移動できるかどうか

「災害ごみ」住民疲労



軽トラの列 進まず

長野市赤沼の災害ごみの仮置き場に向かう軽トラックの列。なかなか前に進まずドライバーらの疲労感も募った＝20日午前11時37分

県内被災地

運搬で渋滞 置き場不足

台風19号による千曲川堤防決壊で浸水被害を受けた長野市の被災地域で、「災害ごみ」の発生がさらに深刻化し、20日はごみを積んだトラックの渋滞も発生した。週末はボランティアの手も加わって被災家庭の片付けが進んだが、各地の仮置き場も満杯に近づいている。ごみ処理の任り方は今後、一層大きな問題になっていく。

長野市赤沼では20日、市の指定とは別に仮置き場になっている赤沼公園に向かう道で、ごみを運ぶ軽トラックなどが長い列を作った。どのトラックも泥をかぶった曇や家財道具などを満載。車列は数分おきに数分前進する程度で、時折、運転席から降りてとされた表情で話した。

豊野東山第1・第2運動場の仮置き場に向かう道も渋滞が発生。車列がほとんど動かない時間帯もあった。同市確保の国道18号もごみの運搬や工事車両などで終日混雑した。長野市地域防災計画では市内で大災害があった場合、発生から1週間が、災害廃棄物の集積場所が不足するとされる時期。千曲川堤防決壊から1週間がたち、市廃棄物対策課は20日、市が指定した3カ所の仮置き場について「まだ完全に満杯にはなっていない」としつつ、新たな仮置き場確保や、仮置き場からのごみ搬出の検討を急ぐ。県災害対策本部によると、20日午後3時時点の県内の住宅被害は6万329世帯。避難者は931人。中部電力は20日、台風19号の影響で長野市の約20戸で続いていた停電が同日午後には復旧したと明らかにした。

「良小海線は不通となっていた中込小海間が20日の始発から運転を再開した。」

長野市避難指示を解除

千曲川流域 締切堤防完成で

18日ぶり

長野市穂保の千曲川堤防決壊現場で30日、国土交通省北陸地方整備局（新潟市）が仮締切堤防が完成した。緊急な復旧工事が完了し、同局は「決壊前の堤防と同程度の強度を確保した」と説明。



千曲川堤防の決壊現場で、仮堤防（中央左）を守るように造られた締切堤防（手前）は30日午前10時38分（河川管理者などの承諾を得て小型無人機で撮影）

これを受け長野市は、同市長沼、豊野地区をはじめ千曲川流域の広い地域に12日夜から出していた避難指示を18日ぶりに解除した。

同省千曲川河川事務所（長野市）によると、締切堤防は高さ約5.5メートル、長さ約320メートルに完成した仮堤防を囲う形で、15メートルほど河川側に設置した。長さ16メートル、幅40センチの鋼材約1700枚を約5メートルの間



隔で二重に打ち込み、間に土や石を詰めめた。

締切堤防は、堤防の本復旧までの間、新たな水害の発生を防ぐ目的で、本復旧の際に仮堤防と共に撤去する。同事務所の吉田俊康副所長は、締切堤防の完成で「当面の安全を確保した」と強調。本復旧については「今後、学識者ら

の意見を聞きながら工法などを検討していく」と述べた。締切堤防の完成を受け、同整備局と長野地方気象台は、市町村が避難情報を出す際の目安となる「避難判断水位」などの基準を通常に戻した。

一方、長野市は、土砂災害の恐れがあるとして12日夜に同市若穂川田、若穂保科の一部919世帯3013人に出していた避難指示は継続。市災害対策本部は、保科川上流の支流で土砂撤去作業を終えるまで続ける方針だ。地滑りの恐れがあり、28日に同市信州新町弘崎の2世帯5人に出した「避難準備・高齢者等避難開始」も継続する。

被災地思う心 信州に

全国から2300人炊き出しも

3連休初日



うどんや五平餅を振る舞う諏訪県諏訪市のボランティア(手前)。大勢の住民やボランティアが訪れた＝2日午前11時38分、長野市豊野町

信濃毎日新聞のボランティア不足が課題とな中、3連休初日の1日、千曲川の被災地へ大勢のボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。ボランティアは、被災地へ大勢のボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。

大飯町の方市の市議員有志、香取さんは「国が中心で、必ず必要とする人たちが被災地へ大勢のボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。

この日は、炊き出しだけでなく、被災地へ大勢のボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。

県内団体 避難所に物資



千曲川流域の被災地へ物資を届けるボランティア(手前)。大勢の住民やボランティアが訪れた＝2日午前11時38分、長野市豊野町

千曲川流域の被災地へ物資を届けるボランティア(手前)。大勢の住民やボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。



被災地の子供たちも避難所では体を動かす。大勢の住民やボランティアが訪れた＝2日午前11時38分、長野市豊野町

千曲川流域の被災地へ物資を届けるボランティア(手前)。大勢の住民やボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。

被災体育館 住民が清掃

長野市豊野町の被災地へ物資を届けるボランティア(手前)。大勢の住民やボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。

被災地の子供たちも避難所では体を動かす。大勢の住民やボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。

この日は、炊き出しだけでなく、被災地へ大勢のボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。

被災地の子供たちも避難所では体を動かす。大勢の住民やボランティアが訪れた。同日の炊き出しは、諏訪県諏訪市と信濃毎日新聞のボランティアが中心で、全国から2300人以上が参加した。



授業再開声にぎやか

長野・長沼小、柳原小校舎で

千曲川氾濫で校舎が浸水した長野市長沼小学校は5日、近くの同市柳原小学校校舎を借り、授業を再開した。子どもたちは、市教委が手配したマイクロバスやタクシーなどで避難先や被災した自宅から登校。子どもたちの話し声は校門に近づくにつれ、にぎやかになった。

「おはようございます」「寒いですね」

柳原小児童室に隣接する長沼小の子どもたち。5日午前8時15分、長野市小島

「いよー。バスやタクシーを降りた子どもたちは、流石に泣き声も聞かずに授業再開した。子どもたちは、市教委が手配したマイクロバスやタクシーなどで避難先や被災した自宅から登校。子どもたちの話し声は校門に近づくにつれ、にぎやかになった。

一時転出中の1人を除く全児童92人がほぼ全員登校。長沼小の北沢克敏校長(60)は「たくさんの方の協力、支援でこの日を迎えられた」と感謝した。また、今も避難所で暮らす30人近くをきめ約70人が避難生活も、残りも自宅が被災。「たくさんのお返しと我慢を心に抱え、どう表に出していいかわからない子どもも多い」と話した。

昨年10月の西日本豪雨で被災し岡山県倉敷市真備町のA会長の小田祐三さん(42)が、今度も設備面での復旧に外周の消毒を終えるまで、土砂や泥の除去に協力。5日7日ほど浸水し、陸上自衛隊や地域のボランティアなどが、今後にも設備面での復旧に外周の消毒を終えるまで、土砂や泥の除去に協力。北工事が必要になる。



倉敷市立川辺小の子どもたちが書いた長沼小児童へのメッセージ

沢校長は「同じ水害で大変な思いをした子どもたちが寄せてくれたメッセージ。大事に読んで」と涙び掛けた。校内に張り出す予定という。

長沼小は、校舎が高さ1・7メートルほど浸水し、陸上自衛隊や地域のボランティアなどが、今後にも設備面での復旧に外周の消毒を終えるまで、土砂や泥の除去に協力。北工事が必要になる。

長野4小中学校授業再開へ

長沼小きょう豊野中はあす

長野市は4日の市災害対策本部会議で、台風19号による浸水被害を受けた長沼小学校(全校児童93人)について、



柳原小(同404人)の校舎を使って5日に授業を再開すると明らかにした。自由登校が続いていた豊野中学校1、2年生も、6日に同校の校舎で授業を再開する予定。これで休校が続いた市北部の4小中学校全てで授業が再開する。

長沼小の児童はこれまで、柳原小の教室を借りて自由登校を続けてきた。市は複数の

避難所などとの間をスクールのバスで結ぶ計画で、長沼小の児童の他、既に授業を再開している東北中の生徒もバスを利用する。

豊野中は電源設備が復旧したことから、1、2年生の授業を再開する。受験を控えた

この日の会議では、陸上自衛隊による長沼小での土砂の撤去と防疫は5日に終わる見通しだとの報告もあった。

3年生は既に市立長野中学校の教室を借りて授業を始めており、11日にも豊野中に戻る計画という。

資料・写真等をご提供いただいた方々(敬称略、順不同)

秋山幸久／井出昌輝／北澤寿基／小泉一真／酒井満／澁谷實／田中章夫／玉木秀明／塚田史郎／月原隆爾／福井靖枝／星研一／森山恵子／和田義盛／長沼地区住民自治協議会／豊野地区住民自治協議会／古里地区住民自治協議会／篠ノ井地区住民自治協議会／松代地区住民自治協議会／若穂地区住民自治協議会／中部電力株式会社／NiKKi Fron株式会社／災害NGO結／長沼林檎生産組合ぼんど童／信濃毎日新聞株式会社／一般社団法人共同通信社／株式会社新建新聞社／交通新聞クリエイト株式会社／総務省(信越総合通信局)／国土交通省(北陸地方整備局千曲川河川事務所)／国土地理院／気象庁(長野地方气象台)／日本気象協会／自衛隊(松本駐屯地)／長野県／長野県警察／福井県(防災航空事務所)／新潟市消防局／松本広域消防局／長野県社会福祉協議会／長野市社会福祉協議会

令和元年東日本台風 長野市災害記録誌

令和3年3月発行

発行 長野市

長野市大字鶴賀緑町1613番地 TEL (026) 226-4911

編集 長野市企画政策部復興局復興推進課